

第 39 回市民総合スポーツ大会
第 41 回 福岡市女子剣道交流大会

と き 令和 7 年 4 月 6 日 (日)

8 時 3 0 分 開会式

ところ 福岡市総合体育館 (福岡市東区香椎照葉)

主 催 福 岡 市

(公益財団法人) 福岡市スポーツ協会

主 管 市民総合スポーツ大会実行委員会

福 岡 市 剣 道 連 盟

後 援 (公益社団法人) 福岡県剣道連盟

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとるとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
財団法人全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
財団法人全日本剣道連盟

第 39 回 市民総合スポーツ大会

第 41 回 福岡市女子剣道交流大会

(兼 令和 7 年度 全国健康福祉祭 剣道交流大会 予選会)

大 会 式 次 第

開 会 式

1. 開 会 の こ と ば
2. 会 長 あ い さ つ
3. 試 合 上 の 注 意
4. 選 手 宣 誓
5. 運 営 上 の 諸 注 意
6. 試 合

閉 会 式

1. 成 績 発 表 表 彰
2. 閉 会 の こ と ば

大 会 役 員

大会名誉会長	福岡市長	高島宗一郎
大会会長	福岡市剣道連盟会長	牧瀬憲保
大会副会長	福岡市東区剣道連盟会長	石橋正久
	福岡市西区剣道連盟会長	富永計久
	福岡市早良区剣道連盟会長	花田利夫
	福岡市城南区剣道連盟会長	大和竹史
	福岡市南区剣道連盟会長	井上和義
	福岡市中央区剣道連盟会長	佐々木健一
	福岡市博多区剣道連盟会長	鬼塚昌宏
大会名誉顧問	(公益財団法人)福岡市スポーツ協会会長	西村松次
大会顧問	(公益社団法人)福岡県剣道連盟会長	青柳俊彦
	(公益社団法人)福岡県剣道連盟副会長	宮川英俊
	福岡連合地区剣道連盟会長	原博生
	(公益財団法人)福岡市スポーツ協会専務理事	原田清子

大 会 委 員

大会委員長	福岡市剣道連盟理事長	國友秀三
大会委員	村方章	村田昇平
	親川光紀	深見心治
	田中健一	
総務委員長	湯口博史	
総務委員	小林真二	河原亮輔
	小林長充	青木幸孝
	石井豊勝	
本部委員	谷口浩司	
記録係	石井豊勝	
表彰係	石橋俊男	
接待係	古田亜衣子	柴田裕子
救護係	相良空美	早起増美

(順不同)

審 判 員

審 判 長 教士七段 深野 浩

	【1 試合場】	【2 試合場】	【3 試合場】	【4 試合場】
審判主任	小林 和久	上田 啓二郎	今井 薫美子	窪山 浩二
審判員 1	親川 佳代	古賀 裕章	鶴田 彰	橋本 祥史
審判員 2	末松 稔	馬場 浩喜	橋口 佳史	山崎 大輔
審判員 3	黨 智	益永 卓	田仲 健児	古田 拓也
審判員 4	松隈 孝	森田 健一	岸川 憲大	増岡 慶司
審判員 5	松本 大吾	鯨坂 正秋	岩男 真吾	篠原 啓祐
審判員 6	坪田 一	海野 恭央	三宅 智子	宮本 辰則
審判員 7	中山 正吾	関 一彰	川元 武士	本田 哲也
	【5 試合場】	【6 試合場】	【7 試合場】	【8 試合場】
審判主任	高井田 誠	白武 瑞人	相良 昌伸	家永 雄一郎
審判員 1	藤井 信吾	島井 貴浩	吉田 武史	下川 和秀
審判員 2	尾池 智行	宮本 和之	藤嶋 晋太郎	築地 浩一郎
審判員 3	中原 敬典	西川 隆一	在津 吾朗	石郷 健太郎
審判員 4	高塚 修治	下村 拓史	税田 健司	今泉 佑太
審判員 5	小賦 崇	角 聡一郎	山林 由敬	小林 真悟
審判員 6	小出 好討	山根 宏文	光岡 来蔵	竹下 圭介
審判員 7	間杉 一磨	辻 玲子	西山 宗志郎	中山 祐一

係 員

(順不同)

【1 試合場】	【2 試合場】	【3 試合場】	【4 試合場】
【中央区】	【早良区】	【南区】	【南区】
山本 直	山下 忠泰	六井 沙弥	橋田 恵
数間 薫	古相 つゆき	吉川 紘子	山下 暁子
中島 新一郎	古相 純子	梁瀬 美穂	小野 京子
上野 早苗	柴田 修義	樋口 由佳	近藤 由紀
牧瀬 恵	柴田 千沙	道源 ゆかり	草場 小織
高橋 康治	手嶋 則世	勝木 舞	渡邊 みゆき
【5 試合場】	【6 試合場】	【7 試合場】	【8 試合場】
【東区】	【博多区】	【西区】	【城南区】
進 美穂	福田 君恵	國友 麻美子	伊崎 健一郎
藤吉 尚子	箕浦 雅子	山崎 ゆう	富永 真由美
杉山 早苗	平川 麻季子	宮本 葉子	富永 瑠美
矢野 靖恵	武田 聡子	栗駒 夏美	宮崎 智和
橋本 智美	禿 美由紀	高橋 友香	松枝 輝
大西 梢	福田 昌記	安井 由希子	田坂 片江

令和7年度 第39回市民総合スポーツ大会
第41回 福岡市女子剣道交流大会
兼 令和7年度 全国健康福祉祭 剣道交流大会 予選会
実施要項

1. 趣 旨 女子剣道の交流を目的とし、地域各団体の今後の活動を活発にすると共に、女子剣士相互の友情を深め女子剣道の普及発展に寄与することを旨とする。
2. 主 催 福岡市・(公財)福岡市スポーツ協会
3. 主 管 市民総合スポーツ大会実行委員会・福岡市市民局スポーツ推進部スポーツ事業課・福岡市剣道連盟
4. 後 援 (公社)福岡県剣道連盟
5. 期 日 令和7年4月6日(日) 受付…午前7時30分～ 開会式…午前8時30分
開会式の参加者は小学生の部・一般の部・60歳以上団体の部のみとします。
他中学生・高校生は11時より受付を行います。準備運動等は武道場で実施して下さい。
6. 会 場 福岡市総合体育館 メインアリーナ (福岡市東区香椎照葉 TEL 092-410-0314)
7. 参 加 資 格 『個人戦』
福岡市内の各道場、公民館、クラブ活動及び学校を単位とした責任ある団体に所属する「**女子選手**」を対象とします。
学生については令和7年4月1日からの新学年を基準とします。
一般の部門については令和7年4月6日現在の年齢を対象とします。
『団体戦』
福岡市在住で各支部在籍の60歳以上の選手としますが、年齢は全国大会開催時に60歳が基準となります。
*予選大会時59歳全国大会日時で60歳を迎えていれば今回の参加資格となります。
8. 競 技 種 目 試合順序(別紙詳細記載)
『団体戦』(1部門)
① 60歳以上の部(令和7年度 ねんりんピック予選会)
*第37回全国健康福祉祭 岐阜大会:令和7年10月18日(土)～21日(火)
『個人戦』(6部門)
② 小学生1～2年の部 ③ 小学生3～4年の部 ④ 小学生5～6年の部
⑤ 一般30歳未満の部 ⑥ 一般30歳代の部 ⑦ 一般40歳以上の部
⑧ 中学生1年の部 ⑨ 中学生2～3年の部 ⑩ 高校生の部
*女子の団体戦は実施しません。
9. 【団 体 戦】
チ ャ ム 編 成
他
※①60歳以上の部
(ねんりんピック
予選会)
1. 同一団体(支部)から2チームまでの参加を認めます。
2. 60歳以上の部団体戦 1チーム選手5名。
60歳以上の部は、1.監督1名、選手5名(この内70歳以上1名以上、65歳以上1名以上)、交代選手2名以内の合計8名以内。監督は選手を兼任できますが、その際は選手としても登録して下さい。
*年齢は全国大会開催時60歳と基準とします。

3. チームの選手は7段以下とし、交代を行っても、競技する5名のうち65歳以上が1名以上、70歳以上が1名以上含まれるものとします。
4. 選手のオーダー編成は、年齢の若い順とします。
5. 交代選手の起用については認めますが、交代した選手は再度出場することができません。この場合においても3.に従いオーダー編成を行って下さい。
6. 交代選手構成について、70才以上の選手が怪我等で出場不可の場合は、交代選手に70才以上がいなければそのポジション（該当試合）は不戦負けとなります。
65才以上の選手の場合も同様となり交代選手2人は、70才以上2人あるいは、65才以上1人、70才以上1人の構成をお勧めいたします。

10. 組 合 せ

主催者で行います。

11. 試 合・審 判 及び試合方法

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則、細則、並びに本大会試合実施要項により行います。
 - (2) 試合は、個人戦・団体戦共にトーナメント方式により行います。
 - (3) 『個人戦』
 - ・試合は3本勝負とし、試合時間は、②～④の部門は2分間、⑤～⑩の部門は3分間とします。試合時間内に勝負が決しない場合は延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとします。
 - ・延長戦に入ってから試合時間は、全部門2分ずつに区切って行い、3回の延長で勝敗が決しない場合は休息をとり、その後は状況に応じて休憩をとります。
 - (4) 『団体戦』※① 60歳以上の部(ねんりんピック予選会)
 - ・試合は3本勝負とし、試合時間は3分間とします。試合時間内に勝負が決しない場合は引き分けとします。
 - ・チームの勝敗は、勝者数によるものとします。勝者数が同数の場合は、総本数によって決定します。なお、全て同数の場合は、最初に引き分けた組による代表戦を行います。
 - ・代表戦は1本勝負とし、試合時間は2分間とします。3回の延長で勝敗が決しない場合は休息をとり、その後は状況に応じて休憩をとります。
- 【個人戦選手の変更】
- ・個人戦の選手の欠場について、最初の試合開始前までに各試合場審判主任へ申し出て下さい。欠場の場合は不戦敗とします。個人戦の選手の変更は認めません。
- 【団体戦選手の変更】
- ・選手のオーダーの変更は不可。
 - ・団体戦の選手の欠場について、最初の試合開始前までに各試合場審判主任へ申し出て下さい。欠場の場合はそのポジションを不戦敗とします。
 - ・参加申込後に団体戦の選手の変更が生じた場合、交代選手は福岡市在住で各支部在籍する者で、交代するポジションは試合当日変更のあったポジションとし、チーム最初の試合開始前までに各試合場審判主任へ申し出て下さい。これ以降の選手の変更は認めません。

12. 表 彰

- (1) 個人戦・団体戦の各部門、優勝、準優勝、3位2名には、それぞれ賞状と景品を授与します。表彰は各部門で決まり次第随時行います。
- (2) 参加者全員に参加賞を授与します。

13. 主 催 責 任 者

福岡市剣道連盟 理事長 國友 秀三

14. 問 い 合 わ せ 先

福岡市剣道連盟 事務局長 湯口 博史（携帯 090-6298-9083）

15. そ の 他
- (1) 参加申し込みの際、学校と所属団体・教室との重複エントリーが無いようにご注意願います。
 - (2) 所属団体名と姓を明記した「名札」を付け、紅白の目印は各自持参して下さい。
 - (3) 大会中の事故については、応急処置は主催側で行いますが、その後の治療等については各団体または個人で処置して下さい。なお、傷害保険等は各団体で加入して下さい。
 - (4) 新中学1年生女子と新高校1年生女子の申し込みについて、各学校からのエントリーを任意として認めます。但し万が一の怪我については、各学校で対応していただくようお願いします。
 - (5) 駐車場は施設駐車場をご利用下さい。（1台500円）
 - (6) 指導者、引率者様へのお願い
 - ・会場（試合場）に入館できるのは各団体4名（監督1名、引率者3名）までとします。
※入館用のリストバンドを受付時にお渡しします。必ず手首につけて試合場に入場して下さい。その他の方は、観客席にて応援をお願いします。
 - ・会場（試合場）での試合中競技者の動画撮影は禁止します。カメラの撮影は許可しません。フラッシュ等の試合に影響される行為は禁止します。
 - ・SNS等の投稿はモラルのある対応をお願いします。
 - ・入場口での靴をブルーシート内に靴を揃え、それ以外に靴を置くことを禁止します。
 - ・体育館内の移動は必ず靴を履いて移動して下さい。裸足での移動は禁止です。
 - ・車での総合体育館への来場時は、各道場でできるだけ乗り合わせてご来場下さい。
 - ・応援は観客席にてお願いします。
 - (7) 選手へのお願い
 - ・選手は試合時、マスクまたはフェイスシールドのどちらかを必ずご着用下さい。
 - ・敗退した選手につきましては、随時、退館のご協力をお願いします。
 - (8) 事務局より
 - ・申込後に事務局よりご登録頂いたメールアドレスに追加の連絡事項をお送りすることがございます。予めご了承下さい。
 - ・近年の大会で、会場内外でお子様による怪我や、公共物の破損等が多発しています。お子様（選手・選手以外）が会場内で事故や、器物破損などを起こさないように十分にご注意、ご指導をよろしくお願い申し上げます。また、万が一お怪我をされた場合は、一切責任を負えません。
器物破損につきましては、各自修理をして頂きますので予めご了承下さい。

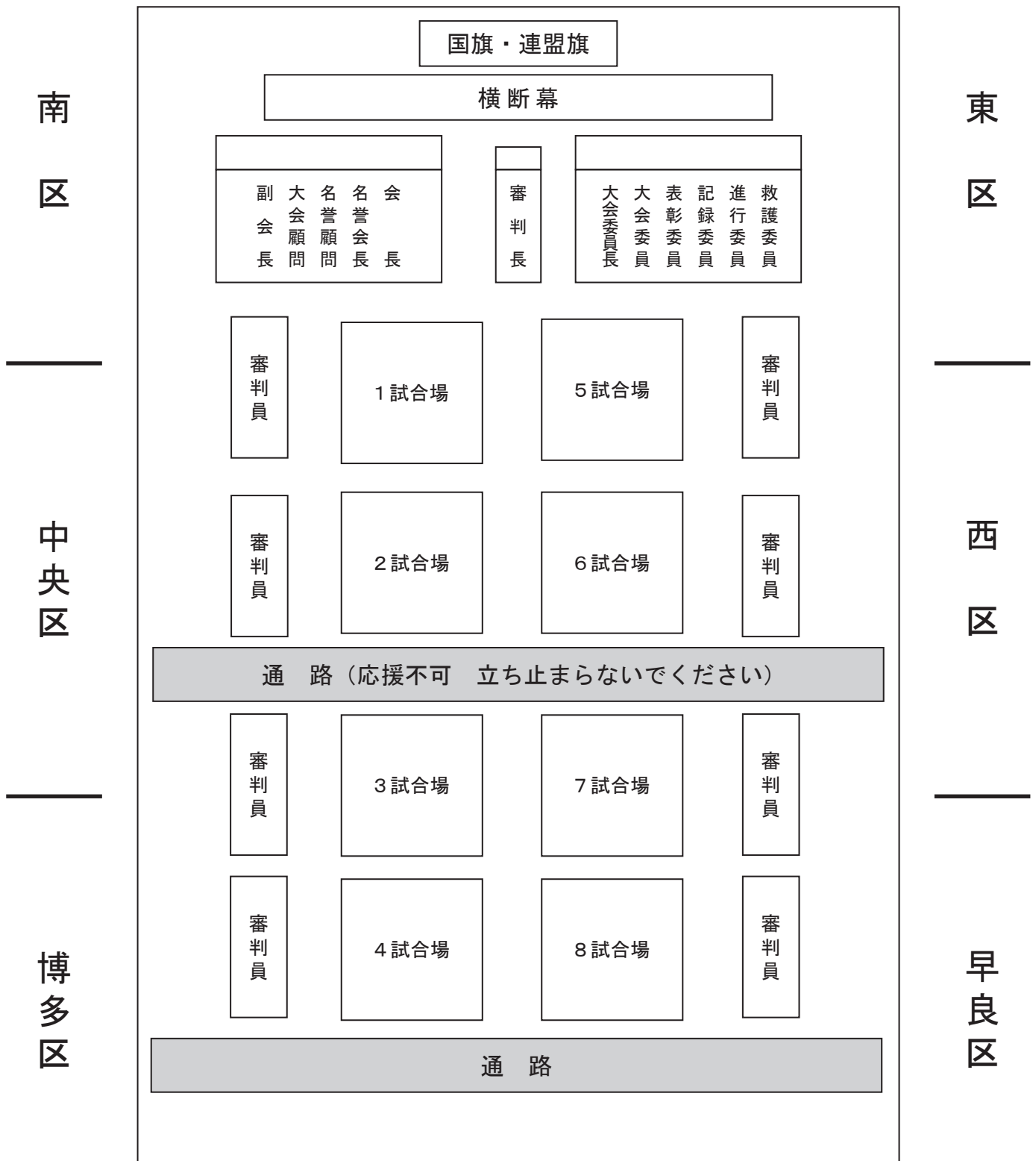
試 合 順 序

	1 順目	2 順目	
1 試合場	60 歳以上団体戦 決勝は1・5 試合場どちらかで実施	* 試合状況に応じて 移動します。	<p>■ 試合順序 1 順から 4 順の順で実施します。</p> <p>■ 60歳以上団体戦の決勝は、1 試合場もしくは5 試合場で実施します。</p> <p>■ 一般の部30歳未満の部・30 歳代の部・40歳以上の部は決勝まで実施します。</p> <p>■ 小学生1～2年生の部は決勝まで実施します。</p> <p>■ 上記以外のグループはグループ決勝まで実施してください。その後、抽選後決勝トーナメントを実施します。但し小学生3～4年の部は決勝戦のみを実施します。決勝トーナメント試合場は本部より指示致します。</p>
2 試合場	一般の部 30 歳未満の部 決勝まで実施	小学生 3～4 年生の部 Bグループ	
3 試合場	一般の部 30 歳代の部 決勝まで実施	小学生 5～6 年の部 Cグループ	
4 試合場	一般の部 40 歳以上の部 決勝まで実施	小学生 5～6 年の部 Dグループ	
5 試合場	60 歳以上団体戦 決勝は1・5 試合場どちらかで実施	* 試合状況に応じて 移動します。	
6 試合場	小学生 1～2 年生の部 決勝まで実施	小学生 3～4 年生の部 Aグループ	
7 試合場	小学生 5～6 年の部 Aグループ	* 試合状況に応じて 移動します。	
8 試合場	小学生 5～6 年の部 Bグループ		
	3 順目	4 順目	
1 試合場	中学 2～3 年の部 Aグループ	中学 2～3 年の部 Gグループ	* 試合状況に応じて 移動します。
2 試合場	中学 2～3 年の部 Bグループ	中学 2～3 年の部 Hグループ	
3 試合場	中学 2～3 年の部 Cグループ	高校生の部 Aグループ	
4 試合場	中学 2～3 年の部 Dグループ	高校生の部 Bグループ	
5 試合場	中学 2～3 年の部 Eグループ	高校生の部 Cグループ	
6 試合場	中学 2～3 年の部 Fグループ	高校生の部 Dグループ	
7 試合場	中学生 1 年の部 Aグループ	* 試合状況に応じて 移動します。	
8 試合場	中学生 1 年の部 Bグループ		

- 試合順序は進行状況により変わることがあります。ご注意ください。
- 決勝戦および決勝トーナメントの実施は、試合場の準備が出来次第、順次案内しますので、本部の指示にしたがってください。
- 午後の部の開始式は行いません。中学生・高校生は11時～12時の間に受付を済ませてください。
- 準備運動等は武道場で行ってください。試合進捗状況を大会本部より案内いたしますのでご準備をお願いいたします。
- 開会式への参加は小学生・大人の部のみとし、他部門は観客席よりご参加ください。

大会会場案内図

本部後ろの観客席は使用不可 メインアリーナ本部後ろは通行不可



(観客席)

城南区

席は譲り合ってご利用ください。観客席最前列の立見は禁止します。

創志な

心こころ創はらぎたは創はらぎす

創はらぎたは創はらぎす

先まずは心こころをはらぎす

三島拾白書

島田虎之助